

～「海洋都市横浜」を目指し、企業・研究機関・大学等の対話と交流を拡大！～  
**うみコン2019「海と産業革新コンベンション」事前登録開始！**

横浜市では、「開港都市横浜」としての魅力向上と、海洋に関する活動拠点となる「海洋都市横浜」の実現を目指し、産官学で構成する「海洋都市横浜うみ協議会(※裏面参照)」を中心に、分野横断的に様々な取組を展開しています。

この度、海洋産業の振興・活性化を目的とした「海と産業革新コンベンション(うみコン2019)」を来年2月20日、21日の2日間にわたり開催します。

海と産業革新コンベンションは昨年度に初開催し、日本全国から海洋分野のみならず多彩な企業、研究機関、大学、自治体等から2日間で約2,500名の方にご来場いただき、活発な意見交換が行われました。2回目となる今回は、前回以上に内容を充実し、水産、海洋資源、再生可能エネルギーなど企業からのブース出展、最先端の研究成果や海洋に関する幅広い分野の講演、さらには大学生向けの「海に関する仕事紹介セミナー」など多彩なプログラムを予定しています。

本日12月3日より、参加者の事前登録を開始しますので、情報収集や新たな連携、ビジネスのきっかけづくりに是非ご参加ください。

**1 開催概要** ※詳細は添付のリーフレット参照

- (1) 名称：海と産業革新コンベンション ～シーズの最前線と対話・交流によるイノベーション～
- (2) 開催日時：平成31年2月20日(水)・21日(木) 10時～17時
- (3) 会場：大さん橋ホール(大さん橋国際客船ターミナル内)
- (4) 主催：海洋都市横浜うみ協議会、横浜市、海と産業革新コンベンション実行委員会
- (5) 協賛：ニッスイマリン工業、住友重機械マリンエンジニアリング

**2 構成プログラム**

(1) セッション

海洋に関する政策・研究・技術開発などの今後の展望について、キーパーソンが登壇したり、企業・研究機関・大学などのプレゼンターが、テーマごとに研究成果、技術、取組を紹介し、交流のきっかけをつくります。また、大学生向けの「海に関する仕事紹介セミナー」も開催します。

(2) ポスター展示

研究成果や技術開発を紹介したポスター展示。ポスターセッションでは研究者と直接コミュニケーションを図ることができます。

(3) 企業・研究機関等ブース

水産、養殖、海洋資源、海洋観測、ロボティクス、再生可能エネルギー、IoT、レジャー等をテーマに企業や研究機関、大学等がブース出展します。

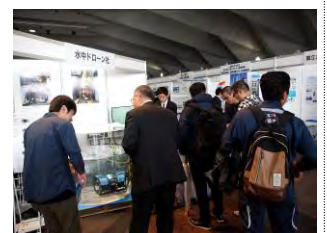
(4) コミュニケーションスペース

飲食コーナーを併設したフリースペースです。参加者同士の情報交換や交流の場としてご活用ください。

うみコン2018の様子(1月16・17日)



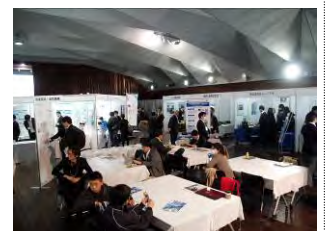
セッション会場



各ブースの様子



パネル展示



コミュニケーションスペース

### 3 海洋都市横浜うみ協議会の概要

設立日：平成27年9月28日

名誉会長・会長 名誉会長：林 文子 横浜市長  
会長：小林 一美 横浜市副市長

設立目的：協議会参加企業・団体の皆様と議論しながら、産官学連携により、次の取組を進めます。  
ア 海洋に関する活動の総合的な情報発信  
イ 市民の海に関する理解・関心の向上  
ウ 海洋環境の保全  
エ 海洋産業の振興

#### 協議会参加企業・団体（順不同）：【33団体】

（国研）海洋研究開発機構（JAMSTEC）、（国研）水産研究・教育機構、  
（国研）海上・港湾・航空技術研究所（海上技術安全研究所、港湾空港技術研究所）、  
（独）海技教育機構、（公財）帆船日本丸記念財団、  
横浜国立大学、東京海洋大学、横浜市立大学、神奈川大学、東京大学生産技術研究所、  
（一財）エンジニアリング協会、（一社）海洋産業研究会、（一社）日本船用工業会、  
（一社）日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）、（一社）次世代センサ協議会、  
（一社）横浜港振興協会、（株）IHI、千代田化工建設（株）、東亜建設工業（株）、日揮（株）、  
横浜港埠頭（株）、（株）横浜八景島、日本郵船（株）、三菱重工業（株）、古河電気工業（株）、  
ジャパン マリンユナイテッド（株）、五洋建設（株）、（株）オーシャンスパイラル、  
（株）セア・プラス、  
内閣府総合海洋政策推進事務局、関東地方整備局（国土交通省）、関東運輸局（国土交通省）、  
横浜市

### 4 昨年度実績

- ・名称：海と産業革新コンベンション（うみコン2018）
- ・日時：平成30年1月16日（火）・17日（水）の2日間
- ・会場：大さん橋ホール
- ・参加者数：約2,500人

### 5 お問い合わせ・事前登録方法等

#### 【海と産業革新コンベンション（うみコン2019）】

特設ホームページ <http://umi-con.com/>

#### 【イベント内容のお問合せ先】

海と産業革新コンベンション実行委員会 事務局 電話：045-663-9151

#### ※ 取材について

オープニングセレモニーは行いません。会場の様子等、取材を希望される場合は、直接会場にお越しください。

#### お問い合わせ先

政策局政策課 担当課長 波多野 陽介 Tel 045-671-4172

## 入場方法

### 入場無料

うみコンのご入場には、Webからの事前登録が便利です。  
事前登録の上、ご来場いただきますと、スムーズにご入場できます。

## 交通アクセス



- みなとみらい線「日本大通り駅」下車徒歩約7分(3番出口)
- 横浜市営地下鉄/JR「関内駅」下車徒歩約15分
- 市営バス「日本大通り駅県庁前」下車徒歩約5分
- 市営バス「大さん橋」下車徒歩約3分
- 首都高速横羽線 横浜公園ランプから約3分
- 首都高速湾岸線 新山下ランプから約10分

## 駐車場のご案内

普通乗用車が最大で約400台まで駐車可能な駐車場がございます。  
平日は24時間利用して最大1,500円。  
ご利用に関する詳細は、横浜港大さん橋国際客船ターミナルHP  
の駐車場案内ページをご確認ください。



## 同 | 時 | 開 | 催 |

### ブルーアースサイエンス・テク2019

2.20 [wed]・21 [thu]

海洋研究開発機構(JAMSTEC)が所有する研究船及び深海調査システム等を利用した研究成果を発表し、研究分野の枠を越えた情報交換を行う場を提供するとともに、研究機関・大学・行政機関・企業と連携した海洋産業振興に資する連絡・交流の機会創出を目的に開催します。

### 第7回ブルーカーボン・シンポジウムin横浜

2.21 [thu]

「海洋」を舞台とした温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」の取組事例等をご紹介します。

## 出展者一覧

IHI/宇津木計器/NTTドコモ/オーシャンズバイラル/海洋研究開発機構<JAMSTEC>/海洋電子/神威産業/関東地方整備局/関東船用工業会/九州工業大学/キュー・アイ/コスモス商事/JFEスチール/SIX VOICE/次世代センサ協議会/海洋計測センサ技術研究会/水産研究・教育機構/スコットランド国際開発庁/セア・プラス/ソルトン/千代田化工建設/鶴見精機/東亜建設工業/東京海洋大学/東京大学生産技術研究所/ニイガタ/日揮/ニッスイマリン工業/日本海洋事業/日本チタン協会/古河電気工業/横河電機/横浜企業経営支援財団/横浜・八景島シーパラダイス/理研電具製造/横浜市 など(順不同)

## 主催:

海洋都市横浜うみ協議会/横浜市/海と産業革新コンベンション実行委員会協議会・実行委員会の構成企業・団体:海洋研究開発機構<JAMSTEC>/水産研究・教育機構/海上・港湾・航空技術研究所(海上技術安全研究所・港湾空港技術研究所)/海技教育機構<JMETS>/帆船日本丸記念財団/東京海洋大学<TUMSAT>/東京大学生産技術研究所/横浜国立大学/横浜市立大学/神奈川大学/エンジニアリング協会/海洋産業研究会/日本船用工業会/日本プロジェクト産業協議会<JPIC>/次世代センサ協議会/横浜港振興協会/IHI/神奈川新聞社/千代田化工建設/東亜建設工業/日揮/日鉄住金物産/日本政策投資銀行/横浜港埠頭/横浜八景島/日本郵船/三菱重工業/古河電気工業/ジャパン・マリンユナイテッド/五洋建設/オーシャンズバイラル/セア・プラス/内閣府総合海洋政策推進事務局/国土交通省関東地方整備局/国土交通省関東運輸局/横浜市(順不同)

協賛:ニッスイマリン工業/住友重機械マリンエンジニアリング

お問い合わせ:うみコン実行委員会事務局 Tel. 045-663-9151

## うみコン 2019

# 海と産業革新 コンベンション

Ocean&Business Innovation Convention

シーズの最前線と対話・交流によるイノベーション

詳しいプログラムは [うみコン2019](http://umi-con.com)

<http://umi-con.com>

事前にご登録いただくともスムーズにご入場できます。▶

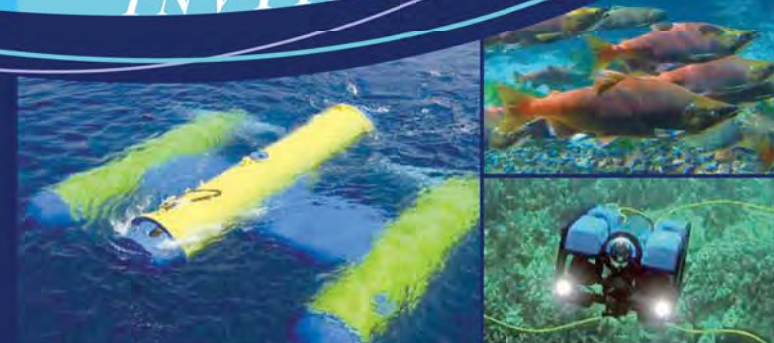


日時 2019  
2.20 [wed]・21 [thu]

入場  
無料

場所 大さん橋ホール  
(横浜港大さん橋国際客船ターミナル内)

# INVITATION



## うみコンとは

最新の技術や情報を共有・融合し、海洋産業の振興・活性化につなげるため、研究やビジネスに携わる人が、一堂に会する場を目指し産官学の連携組織「海洋都市横浜うみ協議会」によって開催された新しいコンベンションです。2回目となる今回は、前回以上に内容を充実し、海洋に関する企業・研究機関・大学などが集積する横浜に、技術・研究成果・情報・製品が集結します。さまざまな関係者との交流やビジネスのきっかけ作り、ぜひご来場ください。



## 1. 企業・研究機関等ブース

水産、養殖、海洋資源、海洋観測、ロボティクス、再生可能エネルギー、IoT、レジャー等をテーマに、企業や研究機関、大学等がブース出展します。



出展者

IHI/NTTDコモ/オーシャンスパイラル/海洋研究開発機構<JAMSTEC>/海洋電子/関東船用工業会/キュー・アイ/コスモス商事/JFEスチール/SIX VOICE/水産研究・教育機構/セア・プラス/ソルトン/鶴見精機/東京海洋大学/東京大学生産技術研究所/ニッスイマリン工業/日本海洋事業/日本チタン協会/横浜企業経営支援財団/理研電具製造/横浜市 など(順不同)

## 2. セッション

海洋に関する政策・研究・技術開発などの今後の展望について、キーパーソンが登壇したり、企業・研究機関・大学などのプレゼンターが、テーマごとに研究成果、技術、取組を紹介し、交流のきっかけをつくります。また、学生を対象に「海に関する仕事紹介セミナー」を開催します。

## 3. ポスター展示

研究成果や技術開発を紹介したポスターを展示。ポスターセッションでは研究者と直接、コミュニケーションを図ることもできます。

### ブルーアースサイエンス・テク

物質循環、海洋生態系ダイナミクス、  
海洋底ダイナミクス、海洋・気候ダイナミクス、  
基盤技術研究開発、資源他を予定

ポスターセッション：両日とも11:30～13:00  
(展示ポスター前で研究者が説明します。)

- 千代田化工建設「千代田の海洋資源開発プロジェクトへの取組」
- 日揮「深海ガス田への挑戦(FLNG)(仮)」
- 関東地方整備局「関東地方整備局の取り組み(仮)」
- 古河電気工業  
「福島浮体式洋上風力発電向けライザーケーブルの実証データ解析」
- 次世代センリ協議会・海洋計測センリ技術研究会「計測ヒンサが拓く海洋産業」
- 宇津木計器 ●神威産業 ●スコットランド国際開発庁 ●ニギタ ●横河電機



## 4. 海に関する仕事紹介セミナー

大学生に対し、企業・団体による業務紹介を通じて、海に関わる様々な分野の仕事について理解を深める機会を提供します。

参加企業

海洋研究開発機構/水産研究・教育機構/キュー・アイ/ジャパン マリン ユナイテッド/セア・プラス/鶴見精機/東亜建設工業/三菱重工業/横浜港埠頭/横浜八景島/関東運輸局/関東地方整備局/(12社)



2/20 (WED)

午前

午後

### ●基調講演

- ・ 我国の海洋政策について
- ・ エネルギー政策と企業によるエネルギー事業の取組について
- ・ ESG投資等について

### ●ブルーアースサイエンス・テク

- ・ 物質循環、海洋生態系ダイナミクス、海洋底ダイナミクス、海洋・気候ダイナミクス、基盤技術研究開発、資源他を予定

### ●海に関する仕事紹介セミナー

※4参照

### ●講演

- ・ 横浜市港湾局  
生物共生型護岸の計画概要について
- ・ 横浜・八景島シーパラダイス/横浜市温暖化対策統括本部  
横浜ブルーカーボン事業と自然の水族館うみファームの可能性
- ・ 海洋研究開発機構  
深海から採取されたバイオリソースの提供事業のご案内
- ・ IHI 海流発電システムについて(仮)
- ・ 横河電機
- ・ 戦略的イノベーション創造プログラム<次世代海洋資源調査技術>

2/21 (THU)

午前

午後

### ●第7回ブルーカーボンシンポジウム

### ●ブルーアースサイエンス・テク

- ・ 物質循環、海洋生態系ダイナミクス、海洋底ダイナミクス、海洋・気候ダイナミクス、基盤技術研究開発、資源他を予定
- ※20日・21日のいずれかで以下を実施予定  
・ 技術報告セッション(海洋研究開発研究機構の技術的な取組や新技術について紹介します。)
- ・ 若手奨励賞(ポスター発表)表彰式

### ●講演

- ・ 海洋研究開発機構/革新的深海資源調査技術管理法人  
深海調査技術の未来

### ●研究成果・技術・取組の紹介

- ・ 水産研究・教育機構  
水産増養殖産業イノベーション創出プラットフォームのご紹介  
異業種連携により行われた研究開発・実証化の取り組みのご紹介(仮)
- ・ スコットランド国際開発庁

### ●研究成果・技術・取組の紹介

- ・ 横浜企業経営支援財団  
横浜企業による海洋ビジネスへの取組(仮)
- ・ 東京大学  
生産技術研究所  
OMNI-大規模海洋観測ネットワークシステム
- ・ 九州工業大学  
濁った海の底に70年間沈む32隻の沈没船を見る

### ●研究成果・技術・取組の紹介

- ・ 東亜建設工業  
環境に関する技術を中心に紹介
- ・ セア・プラス  
自律型小型電動無人観測艇を利用した深淺測定の紹介およびその他利活用の提案
- ・ ソルトン  
製品概要PR
- ・ オーシャンスパイラル
- ・ ニッスイマリン工業
- ・ 横河電機